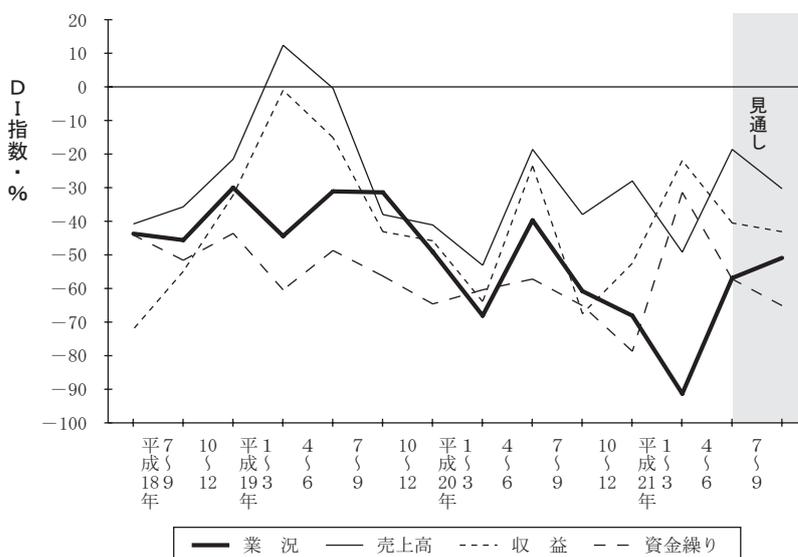


* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は、-57と34ポイント大きく悪化傾向を弱めました。売上額は大きく減少傾向を弱め、収益は減少傾向を強めました。価格面では、料金価格は大きく下降傾向を弱め、材料価格は上昇傾向から大きく下降に転じました。資金繰りは大きく窮屈感を強め依然窮屈感は続いています。残業時間は減少傾向から増加に転じました。人手は不足感を強めました。設備の状況は過剰に転じ、設備投資については、車両を中心に17%と前期比9ポイント増加しました。

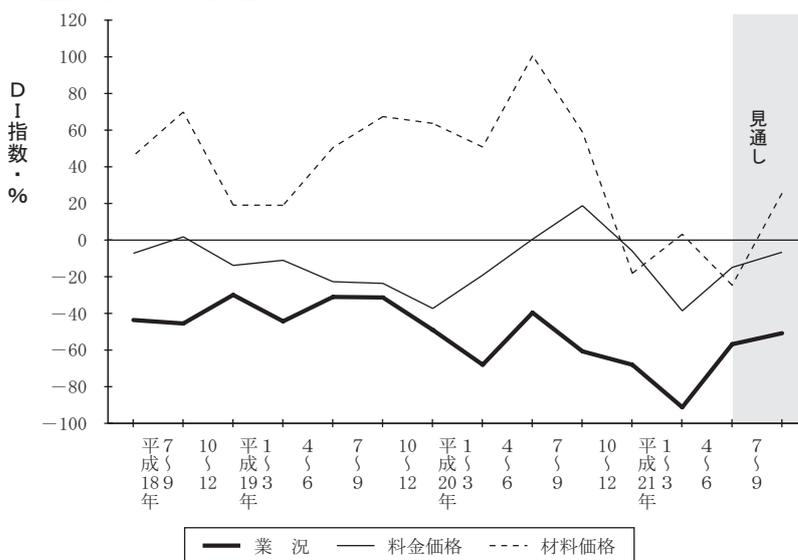
景況の推移



来期の見通し

業況は、-51と今期に比べて6ポイント悪化傾向が弱まるとみえています。また売上額は減少傾向を強め、収益はわずかに減少傾向を強めるとみえています。価格面では、料金価格は下降傾向が弱まり、材料価格は下降傾向から大きく上昇に転じるとみえています。資金繰りは窮屈感がさらに強まりそうです。残業時間は増加傾向がわずかに強まり、人手は大きく不足感が弱まるとみえています。設備の状況はわずかに過剰感が強まり、設備投資については実施の予定なしとみえています。

主な指標の動き



調査員のコメント

- 前期に比べ、売上・収益とも減少しているが、固定客あり無難に推移している。今後販路を広げていく。(タクシー業)
- 売上・収益とも減少傾向であるが、従業員数および賃金は現状のまま様子を見ていく。(運送業)